

Presented by

主催



PRESIDENCY OF THE  
REPUBLIC OF TURKEY

# Ara Güler

アラ・ギュレル写真展



2019年7月1日(MON) - 2019年7月10日(WED)

AM 10:00 ~ PM 3:00 (Gates close at PM 3:30)

会場：東福寺 大慧殿

Primary Sponsors

Official Airline

Media Sponsors

Halkbank



TURKISH  
AIRLINES

SABAH

DAILY SABAH

A R A  
G Ü L E R  
A R C H I V E S  
A N D  
R E S E A R C H  
C E N T E R

A R A  
G Ü L E R  
M U S E U M



Founded by Doğu Group.

英 社： 篤 志 宗 業 福 寺 派 宗 務 本 館  
総 販： 駐 日 ト ル コ 共 和 国 大 使 館 ・ 京 都 府 ・ 京 都 市 ・ J A グ ル ー プ 京 都 ・ ( 公 社 ) 京 都 府 観 光 連 盟 ・  
( 公 社 ) 京 都 市 観 光 協 会 ・ ( 公 財 ) 京 都 文 化 交 流 コ ン ベ ン シ ョ ン ビ ュ ー ロ ー

#aragulerworld



## アラ・ギュレル

アラ・ギュレルは1928年にイスタンブールで生まれました。創造力豊かな写真家として国際的な名声を得ているトルコの写真家の第一人者であるアラ・ギュレルは、幼少の頃映画から非常に大きな影響を受けました。高校時代にはあらゆる種類の映画スタジオで働きました。1951年にゲトロナガン高校を卒業すると、ムシン・エルトゥールの下で演劇と演技の教育を受け始めました。監督か脚本家になりたがっていたのです。この時期にはいくつかの文芸雑誌やアルメニア語の新聞で作品を発表しています。高校卒業後、イスタンブール大学経済学部に進学しましたが、フォト・ジャーナリストになると決意したため大学を中退し、兵役に就きました。ジャーナリストとしてのキャリアは1950年にイエニイスタンブール新聞で始め、1956年にはTime Life、1958年にはParis MatchやStern誌などの雑誌の近東地区担当のフォト・ジャーナリストになりました。同時期にMagnum Photoに参加し、この組織が彼の写真を国際的に発信し始めました。ギュレルはノアの箱舟のルポルタージュを作成し、このとき撮られた写真のうち100枚以上がMagnum Photosによって発信されました。この時期にはまたネムルート山のルポルタージュも行い、彼の写真で全世界にこの山が知られるようになりました。もう一つの重要なルポルタージュは、アフロディアスについてのもので、忘れられていたこの古代都市が再発見され、国際的に知られるようになることに貢献しました。1961年までは雑誌Hayatの写真部で課長として働きました。1961年にはイギリスで発行されるBritish Journal of Photography Year Book (イギリス写真ジャーナル年鑑)がギュレルを世界最高の7人の写真家の一人と認めました。同じ年、アメリカのアメリカメディア写真家協会(ASMP)のメンバーに加えられましたが、この協会に加えられた唯一のトルコ人でした。1962年にはドイツの「Master of Leica」の称号を与えられました。また同年、写真界で当時最も重要な出版物であった「Camera」誌が彼の特集を組みました。1967年にはカナダの「人間世界への視線」という写真展で、1968年にはニューヨーク近代美術館で開催された「カラー写真の10人の巨匠展」で、また同年のケルンでのFotokinaフェアで作品が展示されました。1971年に出版されたキンロス卿の「アヤソフィア」に関する本の写真も彼が撮りました。Skira出版社によってピカソの90歳の誕生日のために用意された「Picasso Metamorphose et Unite」という本の英語版、フランス語版、ドイツ語版の表紙の写真はギュレルの作品です。1974年にアメリカ合衆国に招待され、多数の著名なアメリカ人の写真を撮った後、「クリエイティブ・アメリカン」という名の写真展が世界の多くの都市で開催されました。また同年、駆逐艦ヤヴズ号の廃棄をテーマにした「英雄の終焉」という名のドキュメンタリー映画を撮りました。芸術と芸術の歴史をテーマにした彼の写真はTime life、Horizon、Newsweekなどの雑誌やSkira出版社によって様々な出版物に使われました。1989年から「A day and the life of...」というタイトルのプロジェクトに、世界で最も有名な写真家たちと共同で参加し、インドネシア、マレーシア、ブルネイで活動をしました。何年もかけたミーマール・シナンの建築作品の写真は1992年に、フランスではArthaud社、アメリカとイギリスではThames&Hudson社によって「Sinan: Architect of Soliman the Magnificent」という題で写真集として出版されました。同年「Living in Turkey」という名の本をイギリスとアメリカではThames&Hudson社から、シンガポールでは「Turkish Style」という名でArchipelago Pres社から、フランスではAlbin Michel出版社から「Demeures Ottomanes des Turquie」という名で出版した。2002年にフランス政府からレジオン・ドヌール勲章(文化芸術部門)を、2009年にはパリ市から「La Medaille de la Ville de Paris」を授与された。2005年にはトルコ大統領府より文化芸術大賞を授与され、2008年にはトルコ共和国文化観光省の文化芸術貢献賞、2009年にはトルコ大国民議会から優秀貢献賞、同年アメリカでルーシー財団の永世栄誉賞、2011年にはトルコ共和国文化観光省から文化芸術大賞を授与された。2004年にユルドゥズ大学から、2013年にミーマール・シナン美術大学から、2013年にボスフォラス大学から「名誉博士号」を授与された。世界中で何百回もの写真展を開催し、何十冊もの本を出版した。パートランド・ラッセルからウィンストン・チャーチル、アーノルド・トインビーからピカソやサルヴァドール・ダリまで多数の有名人の写真を撮り、ルポルタージュを行った。ドーウシュ・グループがアラ・ギュレルと協力して実現させたアラ・ギュレル博物館とアラ・ギュレル・アーカイブおよび研究センターは、アラ・ギュレルの90歳の誕生日である2018年8月16日に開館した。アラ・ギュレルは2018年10月17日に90歳で亡くなりました。